

# 空間利用計画（ゾーニング）（案）

---



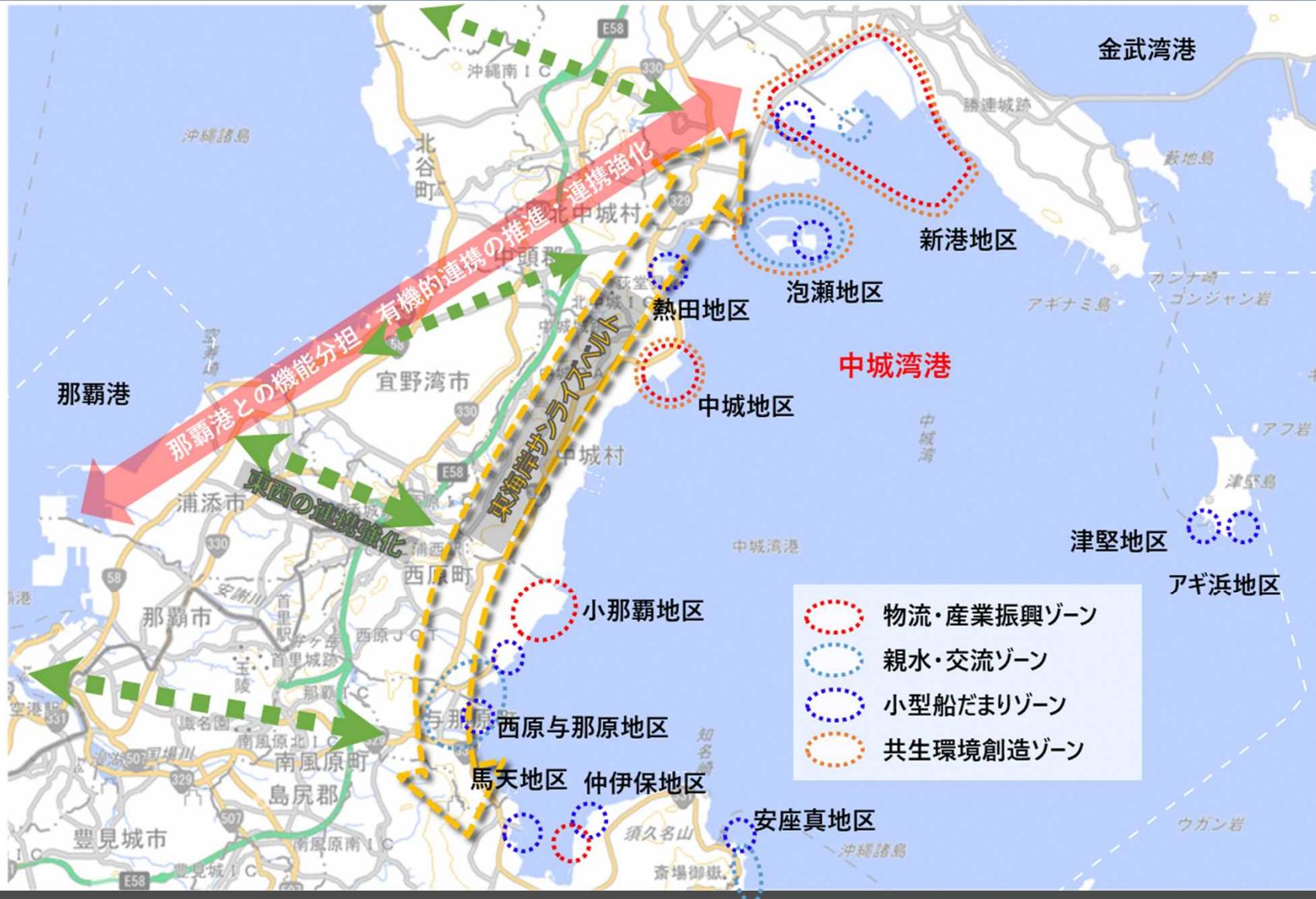
## 中城湾港における空間利用計画（ゾーニング）の設定

中城湾港の将来像（果たすべき役割）、「自立型経済の構築を支える物流・産業拠点」「地域資源を活かしたアジアの誇れる国際交流拠点」「暮らし・仕事・観光の安全・安心を支える中城湾」「経済・社会・環境が統合的に向上した持続可能な中城湾」の実現に向けて、地区特性を踏まえ、効率性、快適性、安全性の観点から調和のとれた空間利用が実現するように空間利用計画（ゾーニング）を設定する。

<b>物流・産業 振興ゾーン</b>	沖縄本島や中城湾港背後圏等の産業・経済・生活を支える物流拠点として、港湾施設及び物流施設の利用に供し、また、臨海部を利用する企業に対応を図る空間	【キーワード】貨物船（RORO船・PCC船・バルク船等）、静脈物流、リサイクルポート、エネルギー拠点
<b>親水・交流 ゾーン</b>	人々が海や港を通じて交流し、賑わい・憩うことができる空間	【キーワード】クルーズ、スーパーヨット、マリナー、MICE、ウォーターフロント
<b>小型船だまり ゾーン</b>	地域の水産業等の振興を支援するとともにマリンアクティビティ拠点としての機能強化に取り組む空間	【キーワード】船だまり・関連する港湾施設、遊漁船、その他小型船
<b>共生環境創造 ゾーン</b>	社会と自然が調和の中で共生し、持続的な発展を可能にする環境の創造に取り組む空間	【キーワード】持続可能性、環境負荷の少ないエネルギー、低炭素型社会

# 中城湾港の空間利用計画（ゾーニング）（案）

〔沖縄の新経済軸〕沖縄らしい新たな価値を創造する臨港都市・東海岸サンライズポート



背景図：「国土地理院」(<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

## (参考) 各地区の空間利用計画ゾーニングの設定

全体ゾーニングに基づき、各地区の空間利用計画ゾーニングを以下のとおり設定し、それぞれの地区に関連する、主要施策の取り組みを明記する。

なお、主要施策〇の取り組み「25 環境に配慮した港湾施設整備」と「26 多様な生物等の保全」は、各地区共通の取り組みとする。

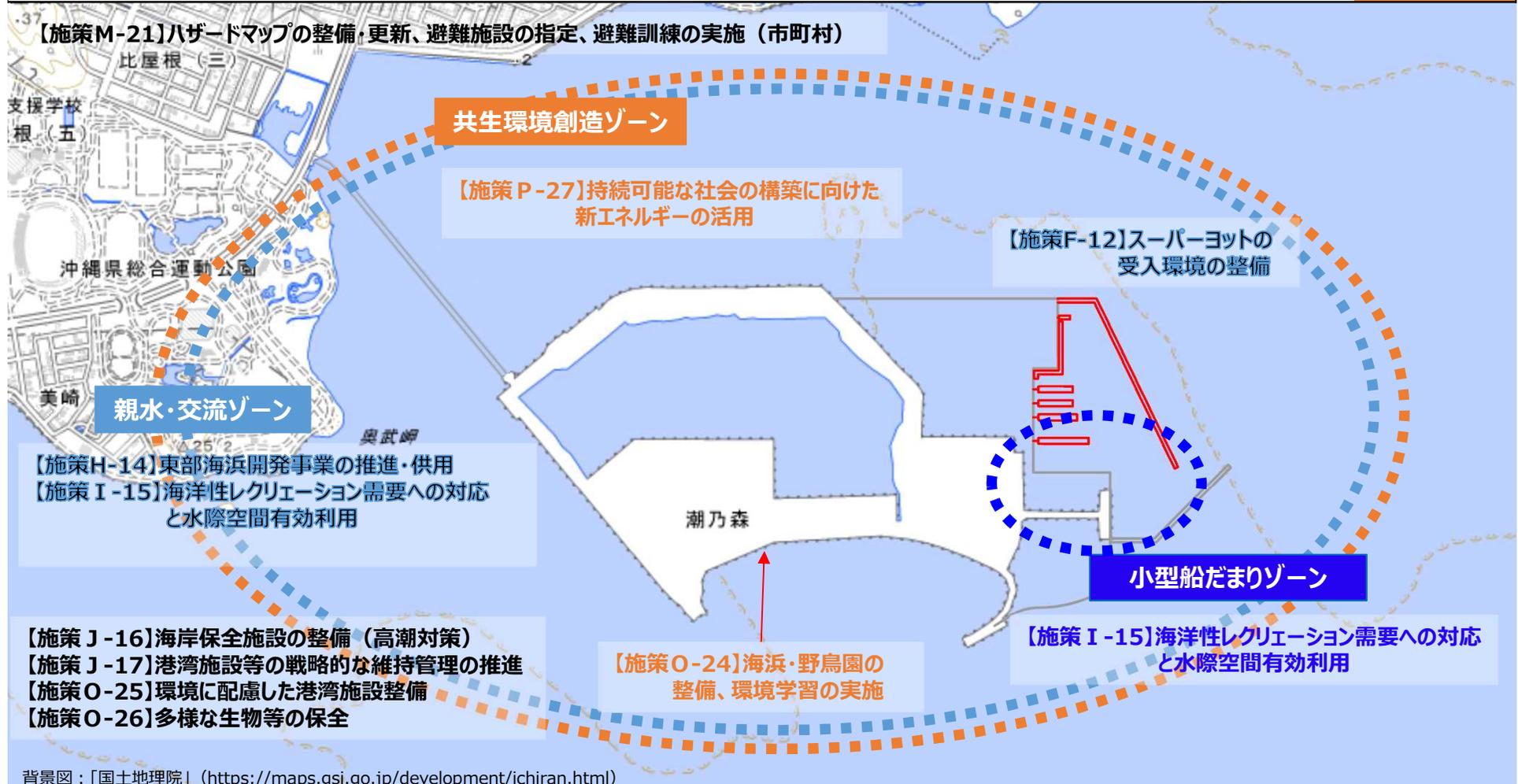
### (1) 新港地区

<ul style="list-style-type: none"><li>効率的で生産性の高い物流ターミナルの形成に向けて、既存施設の再編・強化を行うとともに、引き続き航路の新設・拡充に取り組みつつ、RORO船やPCC等に対応する施設整備など、船舶・貨物・荷役特性等を踏まえた効率的な物流断面の確保に取り組む。</li><li>海上物流に関わる官民が連携し、ハード、ソフトの両面から、効率的なサプライチェーンの形成を支援する取り組みを推進する。</li></ul>	⇒	物流・産業 振興ゾーン
<ul style="list-style-type: none"><li>人流と物流の輻輳を解消するため専用のクルーズターミナルの整備に取り組む。</li></ul>	⇒	親水・交流 ゾーン
<ul style="list-style-type: none"><li>船だまりの機能充実及び領海警備体制の支援を図るため、小型船だまり機能の強化に取り組む。</li></ul>	⇒	小型船だまり ゾーン
<ul style="list-style-type: none"><li>環境負荷の少ないエネルギーの活用や、静脈物流ネットワーク活用による廃棄物の資源化等により、低炭素社会・循環型社会の構築に取り組む。</li></ul>	⇒	共生環境 創造ゾーン



## (2) 泡瀬地区

・交流拠点形成に取り組むとともに、スーパーヨットを見据えたマリーナ整備など、海洋性レクリエーション需要への対応に取り組む。	⇒	親水・交流ゾーン
・マリンアクティビティ拠点としての船だまり機能強化に取り組む。	⇒	小型船だまりゾーン
・環境負荷の少ないエネルギー活用により、低炭素社会の構築に取り組む	⇒	共生環境創造ゾーン



### (3) 熱田地区

・引き続き地元水産業等の振興を支援するとともに、マリンアクティビティ拠点としての港湾機能強化に取り組む。



小型船だまり  
ゾーン



## (4) 中城地区

・エネルギー拠点の形成を図る。

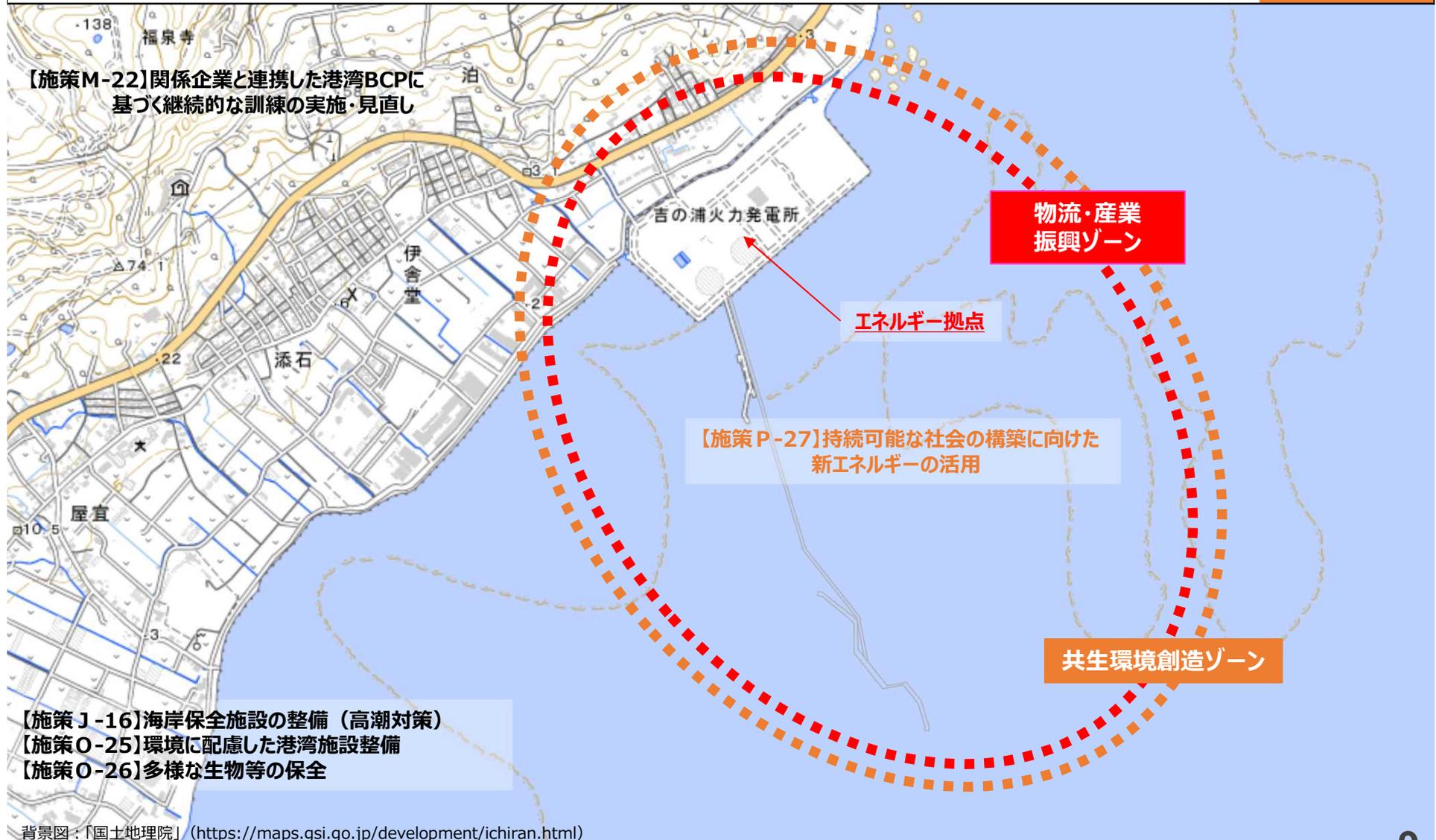


物流・産業  
振興ゾーン

・環境負荷の少ないエネルギー活用により、低炭素社会の構築支援に取り組む。



共生環境  
創造ゾーン



## (5) 小那覇地区

・エネルギー拠点の形成を図る。



物流・産業  
振興ゾーン



背景図：「国土地理院」(<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

## (6) 西原与那原地区

・大型MICE施設を中心とした魅力あるまちづくりへの対応やスーパーヨットも見据えたマリーナ整備、海洋性レクリエーション需要への対応に取り組む。

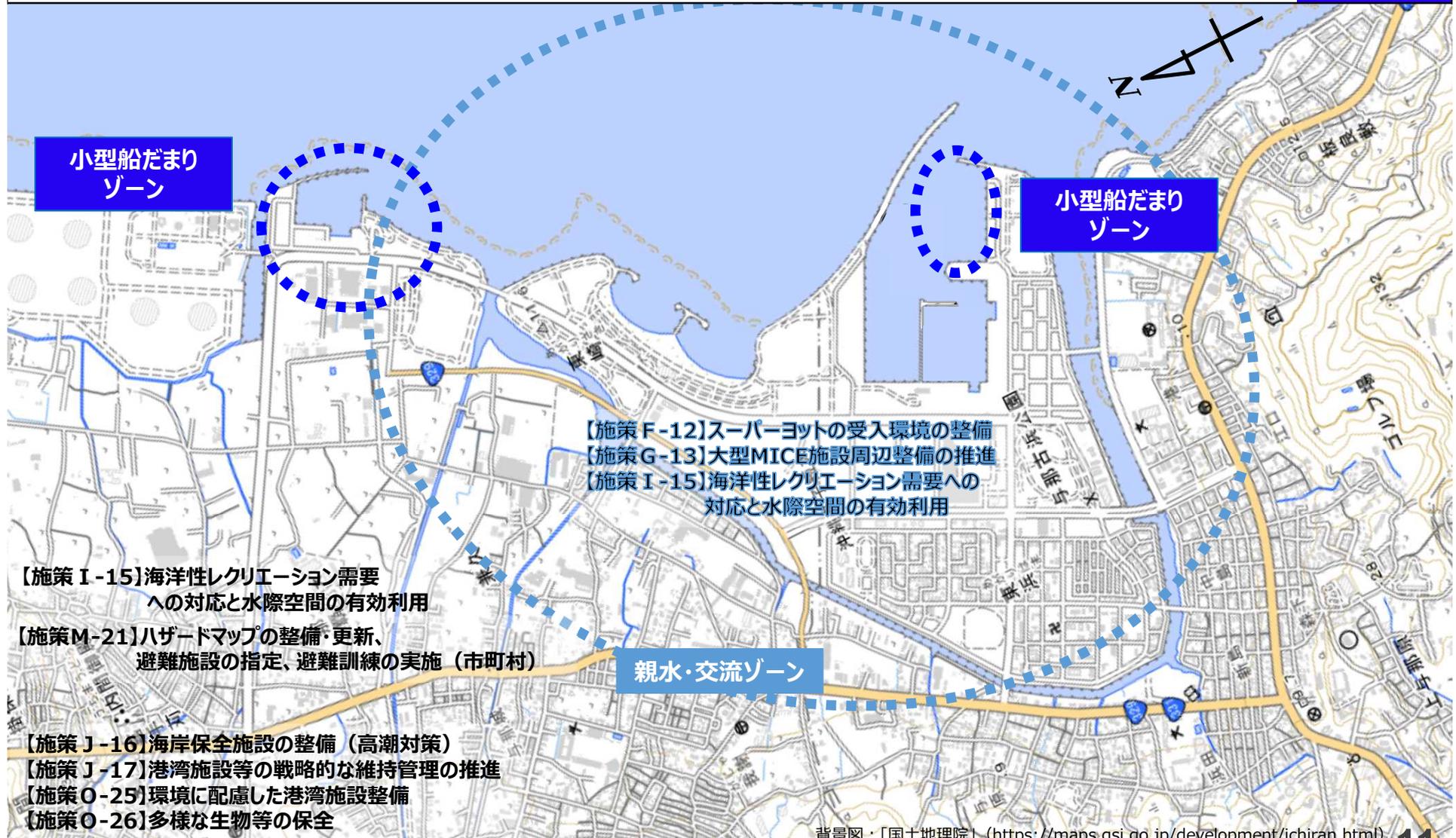


親水・交流  
ゾーン

・引き続き地元水産業等の振興を支援し、マリンアクティビティ拠点としての港湾機能の強化に取り組む。



小型船だまり  
ゾーン



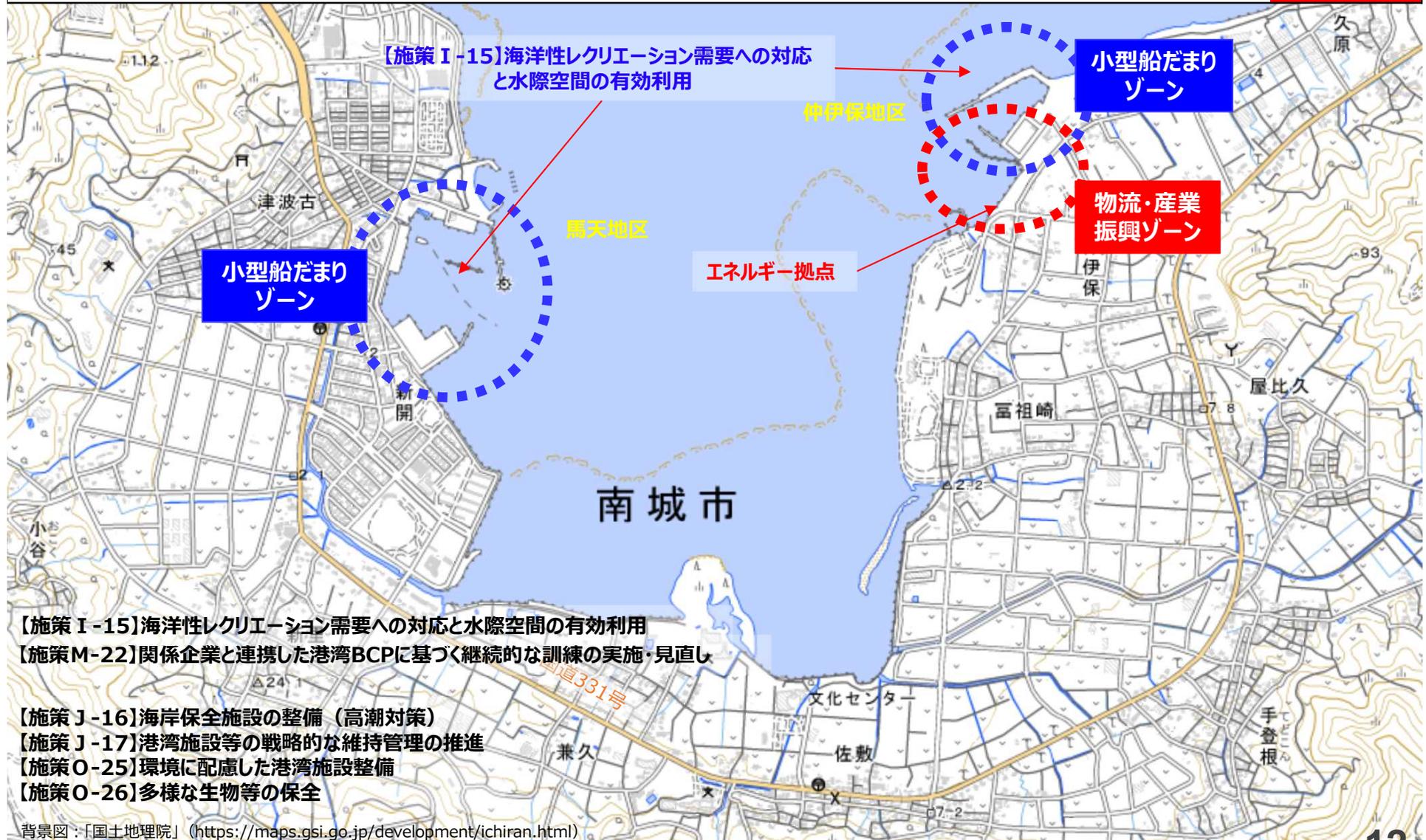
## (7) 馬天地区・仲伊保地区

・引き続き地元水産業等の振興を支援するため港湾機能の強化に取り組む。

⇒ 小型船だまり  
ゾーン

・エネルギー拠点の形成を図る。

⇒ 物流・産業  
振興ゾーン



## (8) 安座真地区

・引き続き地元水産業等の振興を支援するとともに離島への玄関口としての港湾機能強化に取り組む。

⇒

小型船だまり  
ゾーン

・海洋性レクリエーション需要への対応に取り組み、親水性のあるウォーターフロント空間の創出に取り組む。

⇒

親水・交流  
ゾーン



## (9) 津堅地区・アギ浜地区

・引き続き地元水産業等の振興を支援するとともに離島の玄関口としての港湾機能強化に取り組む。

⇒ 小型船だまり  
ゾーン

